

科目名	行政と医療政策 Public Administration & Medical Policy		担当教員 (研究室番号)	森下 直紀 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次後期	科目区分	教養・基礎科目		選択区分	選択	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
											オープンクラス	可
科目目的	日本の医療制度の枠組みをその歴史的発展も含め理解するとともに、行政の役割について理解を深める。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	E 地域社会に暮らす人々お生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる(思考・判断)										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本の医療制度のしくみと歴史を理解する。 医療提供体制について具体的に説明できる。 三重県の医療サービスの現状と課題について自らの意見を述べるができる。 											
成績評価方法(基準)	平常点(30%)、最終レポート(70%)による。											
再試験の有無と基準等	再試験は実施しないが、やむを得ない事由がある場合は、レポート課題の提出時期に柔軟性を持たせることで対応する。											
教科書	指定しない。											
参考書等	宗前清貞『日本医療の近代史：制度形成の歴史分析』ミネルヴァ書房 山崎亮『ケアするまちのデザイン：対話で探る長寿命時代のまちづくり』医学書院											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	毎回の授業の最後に作成してもらうコメントペーパーの内容を元に、履修者の興味関心に沿った内容を次回以降の授業内容に可能な限り反映していきます。ぜひ主体的に授業に関わってください。また、少人数講義となった場合は、可能な限りディスカッションを取り入れることとします。											
備考	国際看護実習に参加を予定する学生は、他国の医療制度と比較した自国の医療制度についての知識が得られるため、特に履修を推奨する。											
回	学習項目		学習内容					主担当教員	授業方法			
1回	オリエンテーション		授業の目的や進め方について説明する。					森下	講義			
2回	医療提供のラショニング問題①		日本の少子高齢化に伴うラショニング問題を、オレゴンプランを例に考えます。					森下	講義			
3回	医療提供のラショニング問題②		日本の少子高齢化に伴うラショニング問題を、オレゴンプランを例に考えます。					森下	講義			
4回	医療提供体制の歴史①		近代化以降の日本の医療提供体制の歴史を概観し、医療サービスがどのように提供されているのかを学び、日本の医療制度の特徴を考えます。					森下	講義			
5回	医療提供体制の歴史②		近代化以降の日本の医療提供体制の歴史を概観し、医療サービスがどのように提供されているのかを学び、日本の医療制度の特徴を考えます。					森下	講義			
6回	医療提供体制の国際比較①		国際比較の意義について解説し、日本の医療制度の評価について概観するとともに、ドイツの医療制度改革について検討します。					森下	講義			
7回	医療提供体制の国際比較②-1		アメリカの医療制度改革の歴史について検討します。					森下	講義			
8回	医療提供体制の国際比較②-2		アメリカの医療制度改革の歴史について検討します。					森下	講義			
9回	医療提供体制の国際比較②-3		アメリカの医療制度改革の歴史について検討します。					森下	講義			
10回	医療提供体制の国際比較③		スウェーデンの医療制度改革について検討します。					森下	講義			
11回	社会的偏見のある病と保健行政①		日本の衛生行政の歴史を概観し、伝染病対策の歴史と患者・感染者の人権保護についてのジレンマについて検討します。また、水俣病事件における公衆衛生行政との関係性について検討します。					森下	講義			
12回	社会的偏見のある病と保健行政②		日本の衛生行政の歴史を概観し、伝染病対策の歴史と患者・感染者の人権保護についてのジレンマについて検討します。また、水俣病事件における公衆衛生行政との関係性について検討します。					森下	講義			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
13回	地域包括ケアシステム	イギリスのGPとの比較において日本の地域包括ケアシステムの課題を検討します。	森下	講義
14回	地域包括ケアシステムの国内先進事例	地域包括ケア幸手モデルについて検討します。	森下	講義
15回	まとめとふり返し	講義を通じて履修者が感じた気づきやより発展的に学習したい内容などを再確認します。また、三重県の医療計画などをもとに、地域行政の目標や課題などについて議論を行います。	森下	講義

学 習 課 題

- ・各回の授業後に振り返りのコメントペーパーを作成し提出すること。

実務経験を活かした教育の取組